

アソカ講話022

テーマ「学びあう豊かさ」

トマト農家の話。ある地域の農家10軒が毎月集まり、自分の所で育てたトマトを持ち寄り品評会をする。機械で糖度を測ったり、全員が食べあい、どのトマトが一番おいしかった投票し、一番になった農家に参加した全農家はその方法を学びに行くという。そのようにして10軒の農家すべてが素晴らしいトマトを生産しているという。

この話を聞いて思ったのは、この手法はそのまま福祉を変える、地域を変える、日本を変える手法になるということだった。学びあうことで介護の質を施設同士で高めていく。くもん学習療法はまさにそのことを実践しつつあり、取り入れた施設間同士で見学しあい介護の質を高めているという。

学習療法をして何よりうれしいのは、職員の感性が豊かになり優しくなったことだと言われた施設長の話にも感銘を受けた。学習療法はご利用者と職員とのコミュニケーションツールであり、そのことを通して共に豊かにやさしくなれることに介護の未来を見る思いがした。

施設を豊かにするツールは様々ある。介護力向上もそう。読書会もそうである。アソカ園は、施設全体で学ぶことに謙虚になり、学びあうことで豊かなケア、豊かな心を実現していきたいと思う。